



宮下しょうじ応援団 発行

みやした 宮下しょうじ 応援団ニュース

第12号

宮下省二議員の活動報告について

宮下議員は、「常に何事にも全力で事に当たって、進まないものについては改善を図ってやっていく」という事を信条にして行動しています。昨年9月以降で、議員が関わる市長要望が5件ありましたので報告いたします。

要望1 城下地区生活道路における交通安全対策について

警察庁では、令和8年度中に道路交通法の改正を行い、生活道路における交通事故の減少に向けて取り組んでいます。諏訪形自治会では、生活道路における交通量調査を昨年5月と6月に行い、その結果を市に提出しました。

城下地区自治会連合会並びに城下まちづくり未来会議では、上田市長に次の要望を行いました。

①生活道路における交通弱者等を守るため、速度規制等の対応について

②生活道路における道路標識がある交差点での停止線（白線）の改善と、道路標識のない交差点での危険性の高い場所における新たな標識の設置に向けた市の取り組みについて

③地元の安全協会が実施していた市道路線での白線の設置再開の可能性について

※議員は、市と警察署との連携により、園児・児童・高齢者等にやさしい安全なまちづくりを求めています。



要望2 諏訪形太陽光発電施設設置事業について

朝日ヶ丘上の太陽光発電施設では、すでに業者は売電を行っています。市や地元との間で約束した事を守っていない為、完成検査ができないでいます。

昨年の3月の市議会議員が、上田市の条例改正の必要性を質問し、それに対して市では「4月以降に検討したい」と回答しています。城下地区自治会連合会の要望事項は次の通りです。

①事業主側に対し、地元確認事項の早急な履行を求める行政指導と、履行期限の公表をする事

②市の「太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」は、県内では当市が先駆けて制定したが、行政指導の効力が限定的な為、速やかに条例の見直しをする事

③市内における太陽光発電施設に関する悪質な事例は広く周知し、二度と同様なことが生じることのない対応を早急に講ずる事が望ましい。



※市は、国（資源エネルギー庁）及び県に現状報告を行った結果、国では直接指導を行い、改善に向けて取り組んでいます。また、市は令和7年中の条例改正に向けて取り組みを進めています。

要望3 上田市幼児期の運動遊びの取り組みについて

遊ボールボランティア上田（会長 宮下省二）では、上田市長に、幼児期の活動について要望を行いました。議員は、平成7年から学校週休二日制の導入に合わせて「何でもスポーツ少年団」を立ち上げて、保育園の年中から小学校2年生までを対象に、親子で楽しむ活動を行ってきました。また、令和4年からは「遊ボール」という、松本大学と松本市が考案した、保育園で1時間遊びながらスポーツのきつかけ作りの取り組みを行い、昨年は21の保育園や幼稚園で、園児と一緒に遊びながら活動を行っています。ある園で、涙を流した園児がいたので、スタッフが声をかけたところ、「楽しくて涙が出てきたの」との事でした。園長からも、「こんなにはしゃいで楽しくしている園児を見たことがない」と言われたそうです。

諏訪形在住の柳沢秋孝さんは、わが国で最初に幼児期の運動遊びを提唱されました。この運動遊びは、園児が楽しみながら基本的な動作を学び、運動に対する苦手意識を無くす事を目的にしたものです。上田市でも、この運動遊びを導入していただきたいという要望です。

柳沢さんは、人間の運動神経ができるのは、0歳児から8歳児までで、この間の活動を推進しています。長野県では、この「運動遊び」は17の市町村が導入しています。



幼児期の運動遊びを市長に要望

※議員は、上田市もこの活動をする事により、将来を背負って立つ皆さんが、元気で育ってほしいと願っています。

要望4 太郎山臭気対策について

西部地区では、養豚場からの臭気を改善してほしいという要望が、市に寄せられています。

この為、議員が代表を務める会派「壮志会」では、昨年5月に市の農業担当課と勉強会を行うとともに、5月下旬には福島県の畜産環境整備機構の畜産環境技術研究所に出向いて、臭気対策の根本的な原因と

改善に向けて研究視察を行いました。会派では、6月市議会の一般質問で取り上げて提案したところ、市は、福島県の畜産環境整備機構に臭気調査を依頼し、10月10日に研究員が臭気の元を取って検査を行いました。その結果が市に報告され、今後、市では改善を図っていくとしています。

市の従来の考え方は、民間で起きた問題は民間で解決して改善を促すという姿勢でしたが、議員は市に改善に向けて提案を行うとともに、市が関与しない限り、改善は進まないという考え方です。当時、市が施設設置に向けて推進した太郎山の施設も、50年という歳月を経ていますので、山頂から吹く風に乗って、臭気が住宅地に流れています。

事業者の方は、県内の上松町に、太郎山の施設の3倍ほどの大きな養豚施設を、昨年12月に稼働しました。上松町では人口減少が進み、新しい施設ができる事によって、若い社員が入ってくることは大歓迎として、町を挙げて販売も含めて応援してきたいとしています。議員の壮志会では、根本的な問題の究明と、どのように進めていったら良いかという提案をしています。

壮志会の提案は、①臭気対策の市の関与について、市が施設改善の表明を行う事。②福島県の畜産環境整備機構との連携等について、6点です。

一方で議員としては、市の畜産振興の観点からは、ブランドとして期待される産業に育ってほしいという思いもあり、上田といえば、日ノ本一の兵（真田幸村の事）なので、「日ノ本一の〇〇〇」のPRはどうかと提案しています。

※議員は、長年の課題解決に向けて、先頭に立って取り組んでいます。



要望5
有機物リサイクル施設
(生ゴミ堆肥化施設)について

会派「壮志会」から要望しているものに、次のものがあります。

丸子の陣場(じんば)にワイナリーがありますが、その下の昔の豚舎牛舎があった場所(市の土地)に、有機物リサイクル施設を設置したいというのが、市の考えです。

上田市内に24ある自治会の中の、72の自治会で生ゴミを集めて、この丸子の施設で、牛糞等を混ぜて堆肥化したいという計画です。生ゴミ施設をなぜつくるのか？燃やせばいいのではという人もいますが、この話になった経緯は、諏訪部地区に、「市の迷惑施設」といわれる施設があります。

そこに、また資源循環型施設建設の提案がされ、地元からは、他の自治会に設置していただきたいとの要望がありました。そうした中、地元対策連絡会からは、市に対して全市民が自分事としてゴミ減量化の取り組みを行う必要があるとの要望が示されました。ゴミの中で一番厄介なものは「生ゴミ」です。これをなくせば

炉の傷みも軽減し、燃焼時間も短くなるので、地元で協力した事になるのではという考えです。会派からの要望事項では、(1)生ゴミを燃やさないことによる建設経費の大幅削減。その中で①資源循環型施設の負担軽減。施設建設に220億円かかりますが、これを40年から50年持たせなければなりません。そのためには、この施設に生ゴミを入れないことが必要となります。

次に、(2)土壌にやさしい良質な有機堆肥の製造。(3)ランニングコストの大幅な軽減です。

市では当初16億円で新しい施設建設を考えていましたが、昨年12月施設内容を再検討する意向を表明しました。



※議員は、人口減少が進む中、施設の在り方は厳しいチェックが必要との思いがあります。

その他
中学校部活動の
地域移行(展開)について

国は、令和8年度中に中学校の部活動について、土・日曜日の活動を地域移行する事を決定しました。全国的には、平日の地域移行も始まっているところがあります。

これを行う理由は、先生方の仕事がありにも多すぎて部活動まで手が回らないという事です。このままの状態ですと、教員のなり手が無くなるとの危機感もあります。

長野県は、北信越5県の中で一番取り組みが遅れていますが、その流れで上田市の取り組みも遅れています。議員は、県の地域移行の役員をしており、県内外の状況を知る中で、これをしっかりやらないと最後に困るのは生徒の皆さんとの強い思いがあります。

四中では、令和2年から校長先生と話し合いを行い取り組んでいます。基本的には、従来から認められている外部指導者による活動をベースに、四中通学区の地域住民主体で進めています。(県教育委員会によると、県内では唯一との事。)その後、令和3年3月に委員会を立ち上げ昨年5月から委員会の名称を「第四中学校文化スポーツ部活動推進委員会(降旗次男委員長)」に変えて、積極的に取り組んでいます。

現在、外部指導者の応募状況は24人です。外部指導者の皆さんと顧問の先生との意思疎通を図りながら進めています。昨年11月から体験会を行い、11月30日の水泳から順次、地域移行に入っています。昨年末で6部活、本年1月で6部活が移行し合計12の部活で行われています。

なお、現在のところ費用は全てご寄付にて賄っています。



※「部活動の主人公は生徒の皆さん」と強い思いで取り組んでいます。

宮下議員 令和7年活動予定

※協力は議員が活動している内容です。

1 建設・防災関連

○防災対策 諏訪形傾斜地崩壊対策 (協力)

○水害対策 御所調整池新設 (要望、協力)

○水害対策 市霊園西側水路新設 (要望、協力)

○県道上田塩川線道路改良(須川工区) (要望、協力)

2 環境関連

○太陽光発電設備条例見直し (要望、協力)

○西部地区臭気対策 (要望)

○丸子有機物リサイクル施設(生ごみたい肥化) (要望、協力)

○資源循環型施設建設 (22回市議会質問)

○南部終末処理場に係る事業 (要望、協力)

3 教育関連

○幼児教育「運動遊び」(要望、協力)

○小学校通学路整備 (要望、協力)

○中学校部活動地域移行 (要望、協力)

○城下小学校学童農園 (協力)

4 生活関連

○今後の自治会在り方 (要望、協力)

○自治会内道水路整備 (要望、協力)

○城下消防まつり (提案、協力)

○市霊園合葬式墓地 (要望、協力)

○千曲川の恵みを取り戻す会 (提案、協力)

5 産業関連

○東山市有林開発 (要望、協力)

○農林水産業振興 (要望、協力)

6 その他

○史跡上田城跡整備 (要望、協力)

○スポーツ施設整備 (要望、協力)

○上田東御小県野球まつり(提案、協力)

○JA城下店ふれあい自由広場 (提案、協力)

※その他、人口減少社会に伴う方策など多数

議員活動の
裏方から一言

皆様のご理解とご協力をいただき、令和7年で議員活動も12年目となります。次から次へと新しい課題に日々取り組んでおりますのを傍から見ていると、よくまあこんなにも動けるものだと思っています。

新聞記事やニュースで気になる放送等がありますと、私から省二さんに問題提起することがあります。そのことも課題として受け止めてくれますので、嬉しい反面、さらに忙しくなるのではと心配にもなります。

最近では頭の切り替えにと、早朝に文庫本の『本所おけら長屋』を読んだりフレッシュしているようです。

活動の一つに、全国で問題となっている中学校部活動地域移行があります。

「子ども達のことを一番に考えて！」との思いで、令和2年から取り組んでいます。

学校へ、県へ、市教育委員会へ、先進地視察へと出かけ、推進委員の皆さん方々と会議を何十回と行い、昨年11月から順次、地元第四中学校の部活動地域移行が開始となりました。

何はともあれ健康が第一です。本人食事は腹7分目ぐらいを心がけ、私が以前の応援団ニュースで記しました、ルーティン食品の食事は今も継続しています。

そして、疲れた様子が見えた時はもちろん、胃腸の疲れにも良い「特性とろろ汁」です。

皆様のご協力があつて議員活動ができ、様々な課題が進展しております。安全安心で住み良い故郷を目指し、宮下は踏ん張り頑張っております。

宮下範子

小野澤義和さんを悼んで

宮下修身

昨年の11月29日に、中村自治会の小野澤義和さんが、急逝されたことを聞き、にわかには信じられないことでした。小野澤さんは、諏訪形で家庭菜園を楽しまれておられ、野菜作り談義も度々でした。

そして何と言っても、小野澤さんに多大なご尽力をいただいたのは、2015年9月から持ち上がった「諏訪形太陽光発電施設」設置についての対応です。

小野澤さんを始め、地域を憂える多くの皆さんにより、計画地の地盤特性に合致した対応を事業者に求め続けました。

伐採処理、本格的ボーリングの実施、客土の方法、近年のゲリラ豪雨に対応した雨水対策としての調整池の拡大等、枚挙にいとまが無いほどの要望と対応を求め続けていただきました。事業者からは相当の抵抗がありましたが、要望を実現させました。

この間、小野澤さんは「夜眠れない事が多々あるほどの重圧」と吐露された事がありました。

一昨年10月に、事業者は未対応案件が残るまま、発電、売電を開始しましたが、上田市では昨年11月29日に国へ報告を行いましたので、解決に向けて進展するものと思われれます。

どうか安らかにお休みください。そして高いところから「諏訪形太陽光発電施設」をお見守りください。本当にありがとうございます。

合掌



太陽光発電で発言する小野澤さん